



うす山



第54号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 八田進 編集 広報事業部

再始動と新始動

臼井地区社会福祉協議会 会長 八田進

日本で最初に新型コロナ感染者が確認されてから3年半が経過しました。この間、多くの方が感染し、亡くなられた方もいらつしやいました。日本や世界中が混乱し、異常な状況が続いた長い長い3年半でした。

5月8日に新型コロナが5類に移行され、マスクの着用や外出の制限が無くなり個人の判断となりました。

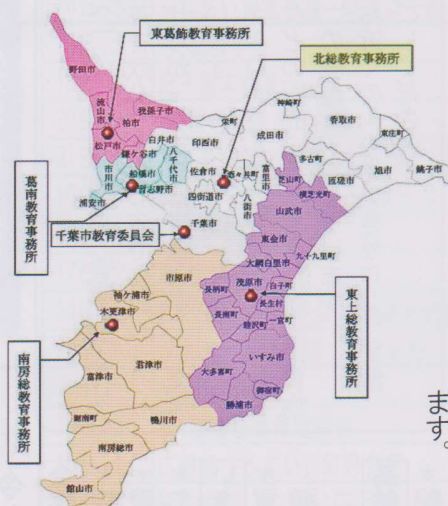
臼井地区社協の各事業部も自粛や活動の制限をしていましたが、今年度は新型コロナ感染状況に注視しながら徐々にコロナ禍以前の活動に「再始動」していきます。

さらに臼井地区社会福祉協議会が、令和5年度から7年度迄の3カ年、千葉県社会福祉協議会から「福祉教育推進団体」に指定されました。

この事業は千葉県内の教育事務所（5ブロック）内の1中学校区域をグループとして指定されています。

北総教育事務所管内では、「臼井西中」「臼井小」「王子台小」「佐倉西高」が福祉教育推進校として、臼井地区社協が「福祉教育推進団体」に指定され、今年度から千葉県が進める「パッケージ指定方式」で活動に取り組んでいくことになります。

「新始動」として、推進校と推進団体がともに福祉教育や地域でのボランティア活動に参加することで、将来ますます地域に助け合い・支えあいの輪が広がることに期待します。



ありがとう事業 4年目へ

ありがとう事業担当理事 荒 悟

佐倉市は平成30年度（2018）で敬老会事業を廃止し、新たに令和2年度（2020）より「おじいちゃん・おばあちゃんありがとう」の気持ちを伝えたい事業を始めました。敬老会事業の総括を踏まえ事業の目的として「超高齢社会を明るく、活力ある長寿社会実現のため、世代を超えて敬老意識の高揚を図り、高齢者の地域社会への参加の推進や生きがいの充実を図る」と有ります。

臼井地区社協も全体事業として企画、理事全員がありがとう事業の役員となり、地区社協の地域（自治会・町内会等）と連携を密にして推進しております。事業推進は2つです。

1つは地域と連携して高齢者の地域ボランティアへの企画・拡大そして健康長寿での継続化です。そして一定条件を設け各地域より長年にわたり種々のボランティア活動の方々の中から推薦して頂き、理事会を経て感謝状表彰を行っています。

(累計実績278人)

2つ目は国が標榜している「人生100年1100歳」に沿い、該当年度で100歳になれる方を「長寿功労賞」としてお祝い表彰しております。

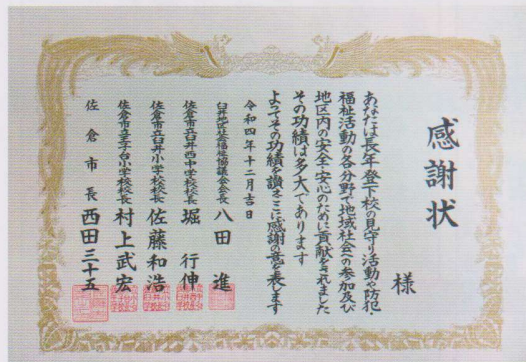
(累計実績5人)

ありがとう事業も4年目に入りますが、避けられない超高齢化社会です。健康長寿で老いも若きもみんな力で合わせて地域一丸となって「ありがとう事業」を楽しく盛り上げ継続していきますよう。

地域の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

感謝状

様



令和5年度の活動について

▼いきいきサロン事業部

「ようこそいきいきサロンへ」

部長 菅原 かおり

まだまだ以前のようにお茶を飲んで大きな声でのおしゃべりや歌は控えなければなりません。今年度は皆様と楽しい交流の場が出来るよう計画しています。

「ふれあい買物市場」はキャロルさんの洋品・雑貨品販売と地元有志の方々の新鮮野菜などの販売。そして7月からは買物市場に加えて「ミニサロン」の開催も予定しています。

コロナ禍での外出不足をお近くの「いきいきサロン」で解消！笑顔のひとつをお過ごしください。

▼高齢者障がい者事業部

「日常を大切に支え合いの心で」

部長 渡邊 美智子

友愛訪問は制限の多い中で直接お会いしての会話が、これまでに以上に大切で嬉しい時間となりました。

今年度はこの新春と秋の友愛訪問に加えて、障がい者施設の訪問やイベント支援、福祉委員手作りのお弁当をお届けする配食サービスを実施する予定です。

地域の方々への理解や交流を深める活動を通して、穏やかでいきいきとした日常を支える取り組みに力を注いでいきます。

▼地域福祉事業部

「支援が必要な個人・団体への事業推進」

部長 八木 方

今年度はコロナ禍によって中断していた「ふるさとにぎわい祭り」、臼井西中学校の福祉教育「赤い羽根共同募金」も再開されるものと考えております。

にぎわい祭りでの子供たちへのおもちゃの販売、中学生との募金活動、その他、歳末助け合い募金では支援を必要とする個人、団体への資金集めに努めてまいります。

また地域内12カ所に置かせていただいている「愛の募金箱」にもご協力を募ってまいります。

令和5年度事業計画

全体事業

*福祉教育推進事業

*愛の手サポート

*ありがとう事業

いきいきサロン事業部

*買物支援&ミニサロン（12回）

*稲荷台班・うすい荘班

*ニッコー団地班・八幡台班

高齢者・障がい者福祉事業部

*配食サービス

*友愛訪問（秋・新春）

*施設イベント支援

地域福祉事業部

*募金活動（赤い羽根・歳末）

*自主財源確保

*うすいふるさとにぎわい祭り

*愛の箱

児童福祉事業部

*三世交代交流親子いもほり会

*地域行事支援事業

広報事業部

*広報紙発行（年3回）

*広報紙以外の活動

*活動取材・各種チラシ、ポスター等の作成、ホームページ

研修事業部

*新福祉委員研修

*福祉委員研修

*福祉公開講座

*救急救命講習会

*市内障がい者施設訪問

▼児童福祉事業部

「親子芋ほり会の復活」

部長 磐崎 武仁

児童福祉事業部の主な行事は、三世交代交流事業の親子芋ほり会です。6月上旬に芋の苗を購入し、苗植えを行っています。

コロナの影響でここ数年、地域の方々に参加していただく親子芋ほり会は実施出来ませんでした。代わりに臼井小学校、王子台小学校の子供たちに芋ほりを体験してもらいました。

今年度は従来行ってきた親子芋ほり会と、臼井小学校、王子台小学校の芋ほり会の両方を行う予定のため、苗の本数も増やすことにしました。

▼広報事業部

「紙面の充実と新しい情報共有方法」

部長 宝田 雅弘

今年度はコロナ前の活動に戻る事を期待しています。

地区社協の全体事業、各事業部の活動状況、地域内の福祉活動の情報などを、分かり易く紹介し、読みたくなる紙面作りを心掛けていきます。

昨年からは始めたパワーポイントを活用した各事業部の活動を福祉委員会で紹介しています。これにより福祉委員の情報共有などの充実を図っていききたいと思います。

▼研修事業部

「福祉委員研修の充実」

部長 宇田川 光三

社協つてな〜に？という問いかけが、せめて福祉委員の中から出ないことを願い、今年も新福祉委員の研修に加え、福祉委員全体にも研修を行います。各種福祉課題や、見聞を広めて頂くための研修、講演会を開催予定です。

今年度は特に高齢化に伴う認知症の課題について、臼井ふるさとづくり協議会から講師を招き講演して頂く他、「障がいのある人もない人も共に生きる」ことの大切さの公開講座を開催します。また福祉委員の交流を兼ねて社会インフラ施設の見学・研修を行います。

(3) 臼井地区社協

臼井地区社協 活動報告

令和5年4月～7月

4～7月		臼井地区社協行事一覧
4月	6日(木)	令和4年度会計監査
	15日(土)	第1回理事会
	22日(土)	第1回福祉委員定例会
	26日(水)	ふれあい買物市場・ニッコー班
5月	13日(土)	第2回理事会
	18日(木)	冊子製本作業
	20日(土)	第2回福祉委員定例会
	31日(水)	ふれあい買物市場・八幡台班
6月	10日(土)	いもほり会用苗植え(江原台畑)
	17日(土)	新福祉委員研修
	17日(土)	第3回理事会
	24日(土)	第3回福祉委員定例会・福祉委員研修
7月	28日(水)	ふれあい買物市場・稲荷台班
	8日(土)	第4回理事会
	15日(土)	第4回福祉委員定例会
	15日(土)	広報紙「うすい」51号発行
	19日(水)	買物市場&ミニサロン・うすい荘班

臼井地区社会福祉協議会 一般会計 令和4年度決算・令和5年度予算書			
(収 入)		(単位:円)	
項 目	4年度決算額	5年度予算額	説 明
市 社 協 支 出 金	1,033,580	1,050,000	市社協よりの交付金
地区社協運営費助成金	983,580	1,000,000	会費還元金・福祉基金補助金・支えあい活動助成金
歳末助けあい募金助成金	50,000	50,000	
敬老事業配分金	505,034	600,000	おじいちゃんおばあちゃんありがとう事業
事業収入	19,300	30,000	にぎわい祭り売上、いきいきサロン会費等
寄付金	20,929	0	
愛の箱積立金	39,886	30,000	
雑収入	7	5	預金利子等
特別会計より繰入	0	0	
前年度繰越金	812,638	570,605	
合 計	2,431,374	2,280,610	
(支 出)		(単位:円)	
項 目	4年度決算額	5年度予算額	説 明
運 営 費	906,871	780,000	
会 議 費	10,848	10,000	福祉委員会会議費・会場使用料等
事 務 費	88,433	100,000	通信・印刷・封筒印刷費・事務消耗品等
事務局設置費	502,600	550,000	
事務局共通事務費	60,000	60,000	うすいセンター共通経費(電気・電話等)
実 費 弁 償 費	43,600	45,000	交通費・ガソリン代等
備 品 費	201,390	5,000	
渉 外 費	0	10,000	渉外にかかわる費用
事 業 費	448,864	585,000	
地 域 福 祉 費	41,342	170,000	
い っ ぽ い っ ぽ い 事 業 費	0	70,000	地域福祉事業費
い っ ぽ い っ ぽ い サ ロ ン 事 業 費	41,342	100,000	いきいきサロン事業費
高 齢 者 福 祉 費	224,164	130,000	昼食会・配食サービス他高齢者事業費
障 が い 者 福 祉 費	0	10,000	障がい児者支援事業費
児 童 福 祉 費	54,400	65,000	児童福祉事業費
広 報 事 業 費	105,718	140,000	広報事業費(社協うすい)年3回発行等
研 修 費	3,240	50,000	福祉委員研修事業費
支 え 合 い サ ー ビ ス 費	20,000	20,000	支え合いサービス事業費
敬老事業費	410,580	600,000	おじいちゃんおばあちゃんありがとう事業
敬老事業費返還金	94,454	0	
予 備 費	0	315,610	
次 年 度 繰 越 金	570,605	0	
合 計	2,431,374	2,280,610	

いきいきサロン事業部(14名)			
城 さゆり	八幡台	吉川 幸子	ニッコー団地
武田 幸子	//	田中 二郎	中宿
深瀧 珠子	臼井田	土屋 智章	ヒューマン
温井 健治	臼井台区	石井 美恵	稲1丁目
末永 孝雄	//	齋藤美奈子	//
末永ヨシ子	//	濱中美智子	//
◎菅原かおり	ニッコー団地	木村 光治	稲4丁目
児童福祉事業部(14名)			
◎磐崎 武仁	八幡台	平川 弘	上宿
大塚 孝憲	臼井台区	中村 孝治	中宿
田仲 知代	//	岡野 敦	下宿
山田 淳子	//	小那木忠男	臼井新町
田中 洋彦	ニッコー団地	山部 紘	//
嶋田 勝己	野口会	池田 菊子	ライオンズ
○鈴木 滋	//	東田さよ子	//
広報事業部(8名)			
大橋 郁	八幡台	八田 進	下宿
○永瀬 博子	//	千葉 利雄	//
但馬 祥生	臼井田	古林 眞	ヒューマン
◎宝田 雅弘	野口会	柴倉紀美代	稲2丁目
研修事業部(10名)			
高橋 勝征	臼井田	武藤 静江	上宿
中島 義人	//	森 智恵子	//
◎宇田川光三	大名宿	野口 幸雄	中宿
小川 弘志	上宿	萩尾 征雄	臼井新町
染谷 克巳	//	花島 邦夫	稲3丁目
顧問(1名)			
島 弘幸	アパガーデン		

高齢者障がい者事業部(24名)			
阿部 昌男	八幡台	渡邊 菊江	臼井上宿
伊藤都喜子	//	三村富美子	稲1丁目
佐藤喜美子	//	渡邊ちひろ	//
原田 和子	//	中尾美枝子	稲2丁目
◎渡邊美智子	//	中村 一孝	//
伊藤 迪行	臼井田	西脇 興二	//
藤代 祐子	//	佐藤 洋彦	稲3丁目
荒木 清美	臼井台区	佐藤 麻紀	//
高宮 敬子	//	佐藤 直子	稲4丁目
小野 清美	大名宿	佐藤 正史	//
荒 悟	ニッコー団地	福田 実	//
宮道 信夫	//	目黒美代子	アパガーデン
地域福祉事業部(11名)			
池田 辰治	ニッコー団地	渡部 雄大	下宿
赤岡 洋	野口会	柴田 良子	臼井新町
田中 賢治	//	二本柳吉美	//
◎八木 方	//	岡野 高明	稲1丁目
永沼 啓治	上宿	鳥澤百合子	ライオンズ
半谷 克彦	下宿		
学校長(3名)			
高井 亮一	臼井西中		
佐藤 和浩	臼井小		
村上 安仁	王子台小		
事務局			
八田 進	会長	伊藤 迪行	事務局長・書記
鈴木 滋	副会長	濱中美智子	会計
深瀧 珠子	副会長・会計	永瀬 博子	うすいセンター
原田 和子	副会長・愛の手帕・アートセンター長		

令和5年度 臼井地区社協福祉委員一覧
 17 泉谷会町内会・区 福祉委員 85名

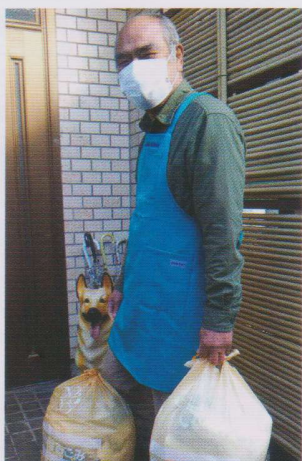


本年度臼井地区社協の各事業部のメンバーです。よろしくお願い致します。(複数所属あり)

◎ ……事業部部長 ○ ……事業部副部長 青 ……民生児童委員 ピンク ……主任児童委員

令和4年度 福祉活動功績者紹介

佐藤 辰夫さん (八幡台)



昨年度も佐倉市社協では、社会福祉に功労のあった方々への表彰を行いました。(広報紙53号掲載)

今回は福祉活動功績者(個人)として、臼井地区社協で推薦、会長感謝状を受賞された佐藤辰夫さん(八幡台)をご紹介します。

推薦に至った主な功績は次の通りです。

- ◎福祉劇団「栄ちゃん一座」座員として20年間、寸劇・尺八演奏で各施設訪問を行ってきた。
- ◎地域内の公園、植え込みなどの美化清掃を行っている。
- ◎高齢者クラブ女性グループに麻雀を教えることで、交流の場を作っている。
- ◎ご近所の庭の草取りをお手伝いしている。



◎2019年に開設した「愛の手サポート」では、初年度からのサポートで、活躍中。

佐藤さんの「愛の手サポート」での主な仕事は、ゴミ出し、草取り、枝落しなどですが、丁寧な仕事ぶりや人柄から、リピーターの方の指名依頼が多いそうです。

そんな佐藤さんからは「愛の手サポート」は良い活動なので、是非続けて下さいとの有難いメッセージも頂いています。

こうした様々なボランティア活動で忙しい中、最高の気分転換は、長年続けている登山だそうです。

これからも福祉活動に元気で頑張っていたきたいと思います。

(宝田)

イオンイエローレシートキャンペーンご協力をお願い

イオンで毎月11日にお買い物をすると、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか？

令和4年度(4年3月~5年2月)の結果がまとまり、今回は1,948,799円の投函で19,500円分のイオンギフトカードを頂きました。今回は7月から再開する予定の「ミニサロン」と福祉委員の研修会で使用するお茶、「買物支援」でお買い上げいただいた方が参加出来る「抽選会」の賞品に使用させていただきました。

ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願い致します。

箱の場所が変わりました！ 右側の列、上から2番目です！

臼井地区社協シール



ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)

臼井地区社協担当日は

毎週月曜日・木曜日

開館時間・午前9時半~午後4時半
(12時~1時は昼休憩です)

住所: 佐倉市王子台1-23

レイクピアウスイ3階

電話: 043(462)0743

メールアドレス: center-usui@catv296.ne.jp

ホームページ:

<http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/>

うすい景

日本の歴史に伝えられる感染症を調べてみました。

日本書紀にある最も古い記録が崇神天皇の時代の疫病とされています。疫病自体が何かは不明です。

世は乱れ、これを治めるため、宮中に祀っていた天照大神を外に祀ることにしたそう。これが後の伊勢神宮の始まりに繋がったとされています。

奈良時代、大陸との交流が活発化すると天然痘が猛威を振ります。聖武天皇の時代は総人口の1/3が犠牲になり、人心を治めるために東大寺の大仏が建立されました。人の行き来と疫病の流行は今も昔も変わりません。

その後、平安、鎌倉...江戸時代も天然痘、麻疹が流行しました。集団免疫の獲得と免疫保有者数の低下を周期的に繰り返したようです。

そして現在は新型コロナウイルス。丸3年経つてようやく薬や治療法に目処が付きつつあります。とはいえ「かからない、うつさない」に越したことはなく、日々注意をしながら生活したいものです。

(古林)